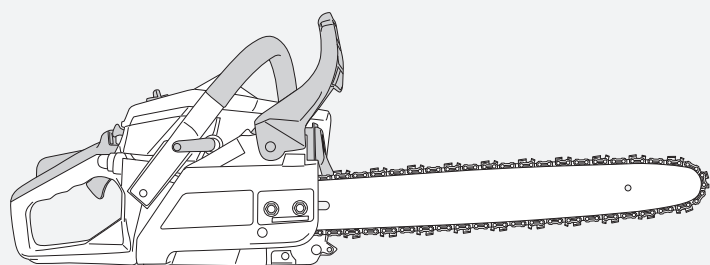


EARTH MAN[®]

アースマンシリーズ

エンジン チェーンソー

400mm CSE-370EA



お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に	1
安全にお使いいただくために	
エンジン製品を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
本製品について	8
用途	
各部の名称・セット内容	
仕様	
使用前の準備	10
はじめて使用するとき	
チェーンブレーキについて	
ソーチェーンの調整	
燃料の準備	
給油	
使い方	15
エンジンのかけ方・止め方	
試運転	
チェーンソーオイル吐出の確認と調整	
切り方の基本	
エンジンの調整(キャブレターの調整)	
お手入れ	27
ソーチェーンの目立てについて	
ソーチェーンの取り外し・取り付け	
エアーフィルターのお手入れ	
点火プラグのお手入れ	
お手入れと保管	
故障かな?と思ったら	
お手入れチェック表	
お買い上げの後に	39
保証書	

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するため、下記のように『警告』・『注意』・『注』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

エンジン製品を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1.作業場所はいつもきれいに保ってください。

- 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。

2.作業場の周囲状況も考慮してください。

- 作業場は十分明るくしてください。
- ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
- 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)

3.作業者以外を近づけないでください。

- 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。

4.作業に適した服装で作業してください。

- 作業をするときは保護メガネを着用し、粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

- 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は巻き込まれないように注意してください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆرمい・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。
- また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- エンジンを始動させる前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った製品を使用してください。

- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、製品の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 本製品と燃料の取り扱いには十分に注意してください。

- 燃料が目に入ったり肌に付着した場合、アレルギーや炎症の恐れがあります。異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- 燃料の持ち運びや保管、取り扱いには十分に注意してください。
- 本製品を使用するときや燃料の混合・給油をするときは、火気のないところで行ってください。

11. 通気孔をふさがないでください。

お使いになる前に(続き)

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

12.エンジンの排気ガスは有害です。屋内など風通しの悪い場所で使用しないでください。

- 通気の悪い場所で使用すると一酸化炭素中毒の原因になります。

13.始動時および使用中はプラグキャップ部・プラグコードに手を触れないでください。

- 感電する恐れがあります。

14.加工物はしっかりと固定してください。

15.本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

16.作動している状態のまま放置しないでください。

17.油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないとき・酒類や薬物を飲んで正常な運転ができないとき・夜間・妊娠中は使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

18.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

19.点検整備するときは、エンジンを停止させてエンジンが冷えてから行ってください。また、点火プラグからプラグキャップを外してください。

- 停止直後やプラグキャップを付けたままですと、ヤケドや不用意な始動による事故の原因になります。

20.使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

21.分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

22.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにエンジンを停止させて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

お使いになる前に(続き)

注意

1.エンジンの始動や使用時は、周囲の人や障害物に十分注意して必ず一人で操作してください。二人以上で作業する場合は安全な距離をおいてください。

2.エンジンの始動は、安定性の良い場所で行ってください。

3.騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4.作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5.長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症の原因になります。

6.こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

7.長期間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレターなどから燃料を全て抜いて乾燥したきれいな場所で保管してください。

8.その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品は家庭用です。木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2 安全衛生特別教育規程 第10の2

警告

- 1.この取扱説明書に記載された用途以外に使用しないでください。
- 2.使用前に必ず人のいない方向へ向け、無負荷で1分以上試運転を行い本製品に不具合がないことを確認してください。
 - 特に初めて使用するときやソーチェーンを交換したときは3分以上の試運転を行ってください。
- 3.ソーチェーンを取り扱うときは必ず切創防止用手袋を着用してください。(ケガの原因)
- 4.作業するときは切創防止用手袋・保護メガネやフェイスガード・防音保護具を着用して作業に適した服装で行ってください。
- 5.指定以外のソーチェーンなどは使用しないでください。(事故やケガの原因)
- 6.ソーチェーンは、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
 - 誤った取り付け方をした場合、ガイドバーからソーチェーンが外れて事故やケガの原因になります。
 - ソーチェーンを取り付けるときは回転方向に注意して取り付けてください。(ケガの原因)
- 7.チェーンソーオイルは燃料を入れる度に満タンにしてください。(チェーンソーオイルが切れた場合、ガイドバー・ソーチェーンの早期摩耗・本体故障の原因)
- 8.肩の高さより高い位置で使用しないでください。(ケガの原因)
- 9.脚立や不安定な場所で作業しないでください。
- 10.使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。(反発力に対処できずに事故やケガの原因) また、ハンドルは手が滑らないように必ず乾いた状態で使用してください。(ケガの原因)
- 11.本体をバイスなどで固定して使用しないでください。
- 12.使用中は、作動部に手や顔などを近づけないでください。(ケガの原因)
- 13.切断はガイドバーの根元部分で行い、先端部分では作業を行わないでください。また、作業中にソーチェーン先端部分などが地面や他の物に触れないように注意してください。(はね返りの原因)
- 14.あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また加工する物はしっかり固定してください。
- 15.使用するとき、チェーンソーの左側に立って使用してください。
 - 右側に立つと的確な使用ができず、事故の原因になります。

お使いになる前に(続き)

16.ソーチェーンは、正しく目立てをしてください。

- デブスゲージの寸法が大きくなり過ぎるとソーチェーンが切れやすくなり、ケガの原因になります。

17.夜間や霧や悪天候時(降雨・降雪・強風・雷など)は使用しないでください。転倒や自然災害による事故や故障の原因になります。

18.スロットルレバーを引くときはソーチェーンに加工物などが当たっていないことを確認してください。

19.加工物の中に異物(釘・ネジなど)や、加工物の下に障害物がないか確認のうえ作業してください。(強い反発力によるケガの原因)

20.切断開始・切断終了後には強い力が働きますので注意してください。

21.加工物は可能な限り水平な場所にしっかり固定して切断してください。加工物を切断後のバランスも考慮して固定してください。

22.切り落とし寸前や切断中に、ソーチェーンやガイドバーが加工物に挟まれないように注意してください。切断する部分から近い位置に、支える台を設けてください。また、加工物切断後の切り落とし材に注意してください。

注 意

1.本製品は家庭用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。

2.スロットルレバーの操作は、作動部が身体に触れた状態や加工物・作業台の上に置いた状態でしないでください。(ケガ・加工物破損の原因)

3.本体に入った切りクズやゴミなどはこまめに取り除いてください。

4.常温(0~40℃)で使用してください。

5.行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするように指導しています。

- 作業時間の組み合わせを上手に計画して使用してください。

6.ガイドバーやソーチェーンの取り付け、チェーンソーオイルの自動給油量を調整するときは、必ずエンジンを停止させてエンジンが冷えてから行ってください。

- エンジンをかけたまま行った場合、不意にソーチェーンが回りだしたときに事故の原因になります。また、停止直後は高温ですのでヤケドの原因になります。

7.エンジンを始動させるときは、ソーチェーンが材料や他の物に当たっていないことを確認してください。

- 本体が引っ張られたり戻されたりして、ケガの原因になります。

8.使用しないときは、ガイドバーにチェーンカバーをしてソーチェーンがむき出しにならないようにしてください。

本製品について

用途

警告

- 本製品は家庭用です。
- 木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。
- 樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。

関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2
安全衛生特別教育規程 第10の2

◆丸太・角材など木材の切断 ◆薪切り作業

各部の名称・セット内容

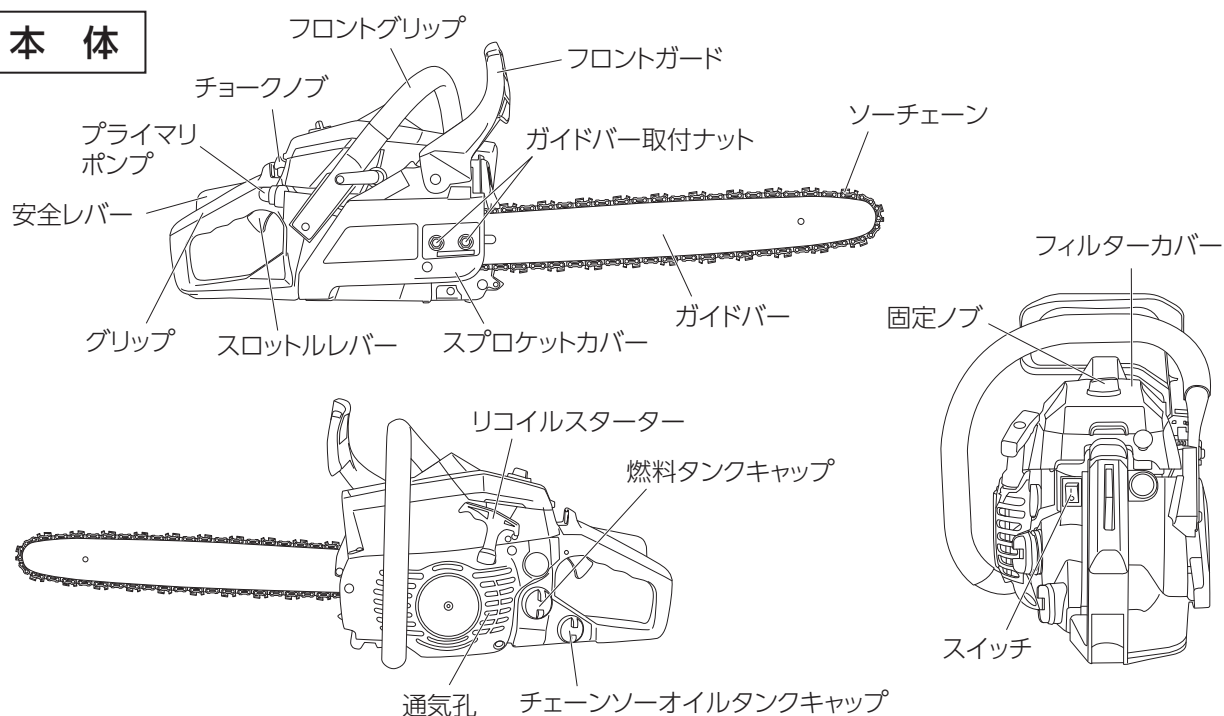
要 確 認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

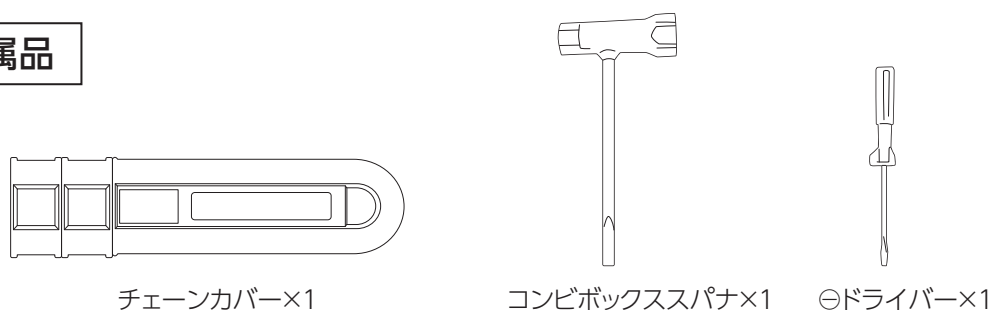
- 付属品が全て揃っているか
 - 破損した箇所はないか
- 万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店または(株)高儀までご連絡ください。

本製品について

本 体



付属品



本製品について(続き)

仕様

区分	項目	
エ ン ジ ン	エンジン型式	単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排気量	37.2ml
	燃料タンク容量	310ml
	オイルタンク容量	210ml
	始動方式	リコイルスターター
	点火プラグ	NGK BPMR7A (CHAMPION RCJ7Yも使用可)
使 用 燃 料	使用燃料	潤滑油混合ガソリン
	混合比	25 (無鉛ガソリン) : 1 (2サイクル専用オイル)
チェーンソーオイル給油方式		自動
ガ イ ド バ ー		OREGON 400mm(16インチ)
運 転 音		約106dB/m
本 体 サ イ ズ		約 長さ770×幅230×高さ265 (mm)
質 量		約5.1kg

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

付属ソーチェーン

型 式	OREGON 91PX-57E
コ マ 数	57
ゲ ー ジ	.050" (1.3mm)
ピ ッ チ	3/8"

使用前の準備

⚠ 警告

- ガイドバーおよびソーチェーンを取り扱うときは、切り傷防止のため必ず切創防止用手袋を着用してください。
- ソーチェーンの張りは常に適正な状態を保ってください。特に、新しいソーチェーンは使用開始直後の伸びが大きいため、頻繁に再調整してください。張りがゆるいと使用中にソーチェーンが外れやすくなります。
- ソーチェーンを強く張り過ぎるとガイドバー・ソーチェーンやクラッチなどの早期摩耗の原因となります。

はじめて使用するとき

工場出荷時はガイドバーとソーチェーンは装着されています。ご使用前にソーチェーンが適切に張られていることを確認してください。ゆるみがあるなど、調整が必要な場合はP.11「ソーチェーンの調整」を参照して調整してください。

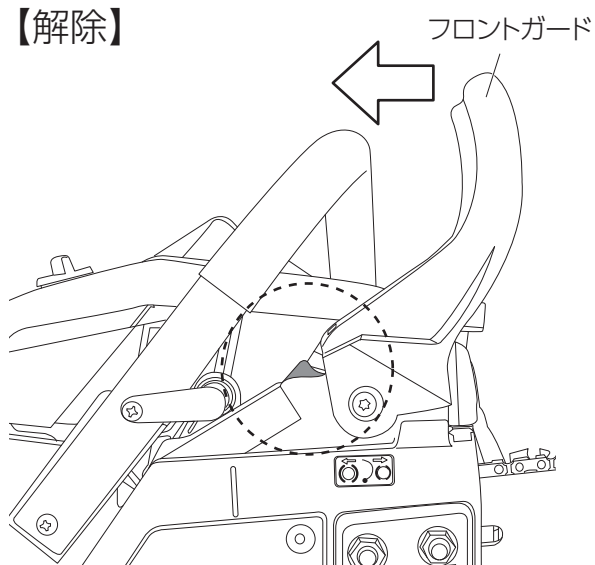
チェーンブレーキについて

チェーンブレーキは使用中にキックバック(P.21参照)が発生したときの危険を少なくする装置です。ガイドバー先端での切断など、強い跳ね返りが生じた場合に自動的に作動してソーチェーンの回転を停止させます。

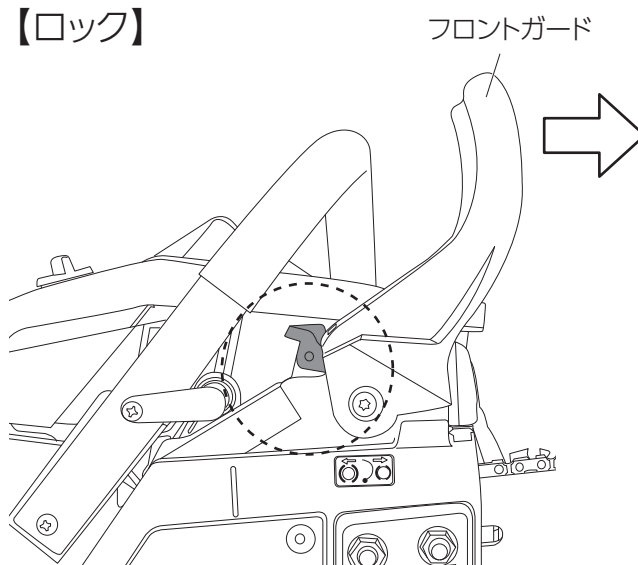
ロックの解除はフロントガードを手前に引きます。

ロックする場合は、フロントガードをソーチェーン方向に押すことでロックできます。

【解除】



【ロック】



使用前の準備(続き)

ソーチェーンの調整

警告

- ソーチェーンを取り扱うときは、必ずスイッチを切りエンジンを停止させてください。
- ソーチェーンを取り扱うときは必ず切創防止用手袋を着用してください。
- 作業ごとに必ずソーチェーンの点検・調整をしてください。
- ソーチェーンの張りは適切にしてください。特に新品のソーチェーンは多少伸びが発生しますので、こまめに張りを調整してください。

1. チェーンブレーキ(P.10参照)が解除されていることを確認してください。

2. 付属のコンビボックススパナでガイドバー取付ナットをゆるめてください。※外さないでください。

3. ガイドバー先端部分を持ち上げながら、ガイドバーの根元付近にあるガイドバー調整ネジをコンビボックススパナの○ドライバーで回して張りを調整してください。

ガイドバー調整ネジ

右回転(時計回り)

左回転(反時計回り)

ソーチェーン

張る

ゆるむ

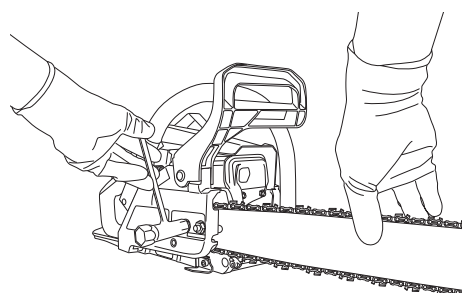
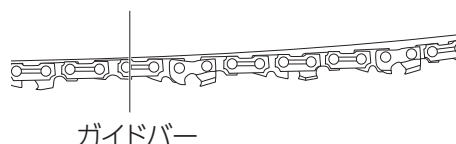
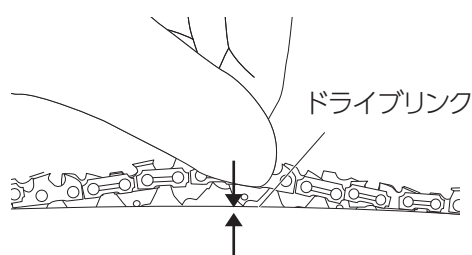
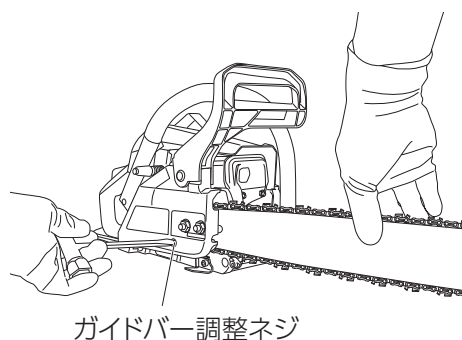
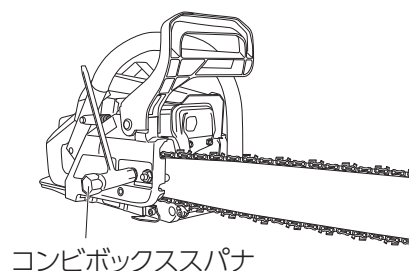
ソーチェーンの張りは、ガイドバー中央でソーチェーンを指で引き上げて確認します。(本体が浮かない程度の力)ガイドバーとソーチェーンのドライブリンクの隙間がなくなるように調整してください。

4. 調整後、ガイドバーの先端部を持ち上げながら付属のコンビボックススパナでガイドバー取付ナットをしっかりと締めてください。

※ガイドバーは確実に締め付けてください。ゆるむとソーチェーンが外れる恐れがあり、事故やケガの原因になります。

5. ソーチェーンが手で軽く動き、ガイドバーとの間に目立った隙間がないか確認してください。

※張りが不適當な場合は再調整してください。



燃料の準備

警告

- 混合燃料は引火性の高い燃料です。必ず火気厳禁を守ってください。
燃料はエンジンを停止して、エンジンが冷えてから補給してください。
- 本製品や燃料の取り扱いには十分に注意してください。
- 燃料の持ち運びや保管、取り扱いには十分に注意してください。燃料が目に入ったり肌に付着した場合、アレルギーや炎症の恐れがあります。異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。
- チェーンソーオイルを入れずに燃料だけで運転すると、ソーチェーンやガイドバーの損耗が早くなります。燃料を補給するときは、必ずチェーンソーオイルを補給してください。

注意

- 混合燃料がタンク内やキャブレター内に残ったまま長時間放置すると、混合燃料が変質してエンジンがかからなくなります。1週間以上使用しない場合は、必ず混合燃料を抜き取ってください。
- 混合燃料を樹脂製タンクに保管すると、樹脂の成分が燃料の中に溶けだしてエンジン故障の原因になります。
- ガソリンだけで運転すると、エンジンが焼き付き故障します。必ず混合燃料を使用してください。

燃料混合比

- 燃料は無鉛ガソリンに2サイクル専用オイルを25(ガソリン):1(オイル)の割合に混合した混合燃料を使用してください。

アルコール混入燃料は、ゴム製部品の劣化を早めるので使用しないでください。

※ガソリン・オイルの種類や混合比が異なりますと、エンジン不調の原因となります。

燃料混合比

無鉛ガソリン **25** : 2サイクル専用オイル **1**

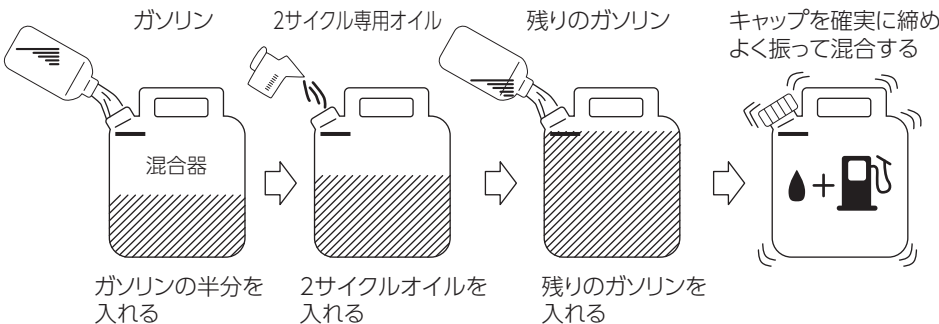
ガソリン	2サイクル専用オイル
1ℓ	40ml
5ℓ	200ml

- 混合燃料は劣化しやすいため、1回で使い切る量だけ作ってください。
1カ月以上経過すると揮発したり、腐敗してエンジンが故障します。

燃料の作り方

混合燃料は必ず混合器で作ってください。混合器はいつもきれいにしておいて使用してください。

- ①混合器に混合するガソリンの半分を入れてください。
- ②規定量のオイルを入れて、残り半分のガソリンを入れてください。
- ③混合器のキャップを確実に締め、混合器をよく振ってガソリンとオイルを混合してください。



使用前の準備(続き)

給油

⚠ 警告

- 給油するときは、火気のないところで行ってください。
- 作業の途中で給油する場合も、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。
- タンクキャップは確実に締めてください。
- 給油時にこぼれた燃料やオイルはエンジンをかける前に必ず布などでよく拭き取ってください。

⚠ 注意

- 燃料タンクとチェーンソーオイルタンクを間違えないでください。誤給油防止のため、キャップは給油する方のみ開けてください。
- 燃料を入れすぎると、タンクの通気バルブから漏れる恐れがあります。給油のときは、タンク内部に少し空間を残してください。
- チェーンソーオイルを入れずに運転すると、ソーチェーンやガイドバーの損耗が早くなります。チェーンソーオイルを補給するときは、満タンまで入れてください。

チェーンソーオイルの給油

⚠ 注意

- 燃料補給時には必ずチェーンソーオイルも補給してください。オイル切れのまま長時間使用するとソーチェーンやガイドバーの損耗が早まります。
- 廃油や再生油は故障の原因となりますので絶対に使用しないでください。
- ゴミなどの異物が混入したチェーンソーオイルは使用しないでください。

本製品にチェーンソーオイルは入っていません。使用する前に必ずチェーンソーオイルを給油してください。チェーンソーオイルはチェーンソーが運転すると自動で給油されます。

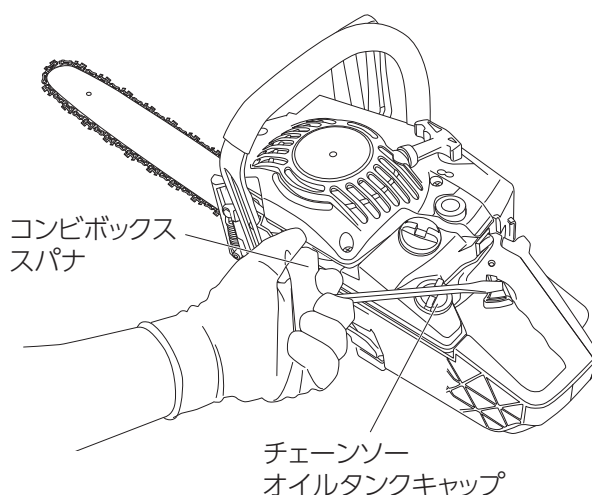
市販のチェーンソーオイルを使用してください。

※燃料タンクとチェーンソーオイルタンクのキャップを同時に開けないでください。誤投入の原因となります。

1. チェーンソーを屋外の平坦な場所に、キャップ側を上向きにして横に寝かせてください。

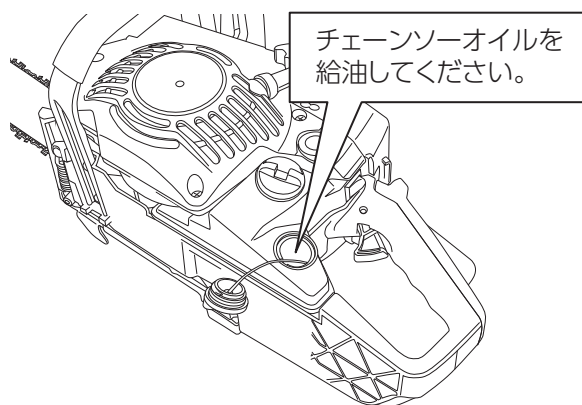
2. チェーンソーオイルタンクキャップを少しゆるめて、タンク内と外の気圧差をなくしてください。

※キャップが固く開かない場合は、付属のコンビボックススパナをキャップの溝に入れ、回して開けてください。



3. チェーンソーオイルタンクキャップを完全に取り外し、少しずつゆっくり給油してください。

4. 給油が終わったら、キャップを確実に締め付け、チェーンソーオイル漏れがないことを確認してください。



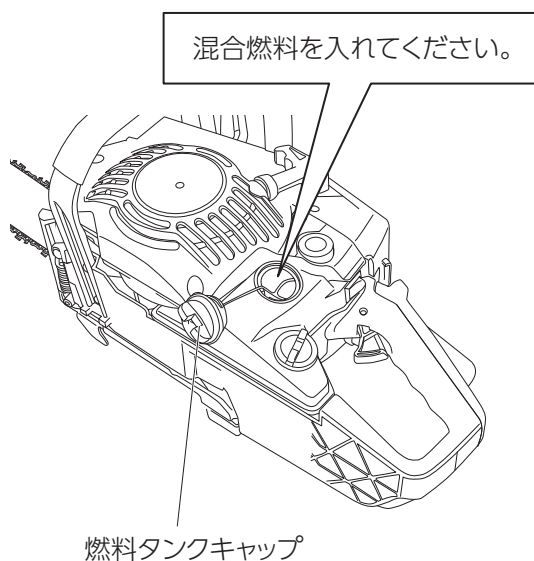
燃料の給油

1. チェーンソーを屋外の平坦な場所に、キャップ側を上向きにして横に寝かせてください。

2. 燃料タンクキャップを少しゆるめて、タンク内と外の気圧差をなくしてください。
※キャップが固く開かない場合は、付属のコンビボックススパナをキャップの溝に入れ、回して開けてください。

3. 燃料タンクキャップを完全に取り外し、少しずつゆっくり給油してください。混合燃料は燃料タンクの8分目を目安に入れてください。

4. 給油が終わったら、キャップを確実に締め付け、燃料漏れがないことを確認してください。



使い方

エンジンのかけ方・止め方

警 告

- 各部品・部位が欠落・破損した状態でのチェーンソーの運転は大変危険です。
ガイドバー・ソーチェーンを含めた全部品が確実に組みつけられた状態で、各部に異常がないことを確認したうえで使用してください。
- エンジンの始動は必ず給油した場所から3m以上離れたところで行ってください。
給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。
- エンジンの排気ガスは有害です。屋内など風通しの悪い場所で使用しないでください。通気の悪い場所で使用すると一酸化炭素中毒の原因になります。

注 意

- 始動時はチェーンソーを地面に置いて確実に保持してください。ソーチェーンが地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、本体を持ち上げたまま始動しないでください。
- 始動時はソーチェーンが地面に触れないようにしてください。周囲の障害物を遠ざけてください。
- 危険ですので、使用中はスロットルレバーを固定しないでください。始動時および使用中はプラグキャップ・プラグコードに手を触れないでください。感電する恐れがあります。
- チョークノブを引くとラッチ状態(チョークが閉じた状態)になり、この状態でエンジンを始動させるとソーチェーンが回り始めます。
- 最初の爆発音を聞き逃して、チョークノブを引いたまま始動操作を繰り返すと燃料の吸い込み過ぎでエンジンがかかりにくくなる場合があります。リコイルスターターを繰り返し引いてもエンジンがかからない場合は、チョークノブを元の位置まで戻してからエンジンがかかるまでリコイルスターターを引くか、点火プラグを取り外して電極を乾燥させてから元のように取り付け、チョークノブを元の位置に戻して始動操作をやり直してください。
- リコイルスターター故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。また、リコイルスターターノブから手を放して戻したりしないでください。
- 無負荷連続高速運転はエンジンに負担をかけますので、切断時以外はスロットルレバーから指を離してください。特に試運転中はエンジンに負荷がかかりますので、不必要にエンジンの空吹かしはしないでください。
- スロットルレバーを握りながら、リコイルスターターを引かないでください。

チェーンブレーキ(P.10参照)がロック状態の場合ソーチェーンは回転しません。
エンジン始動前にはチェーンブレーキを解除してください。

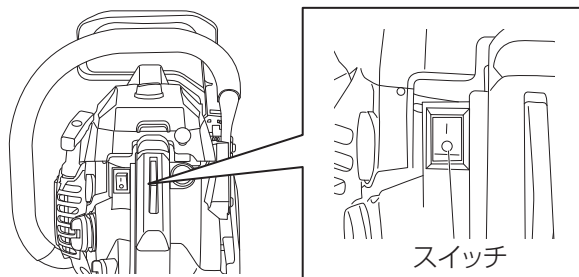
冷えたエンジンのかけ方

警告

- チョークノブを最初の引いた状態で始動した場合ソーチェーンが回転したままになります。エンジンの始動後は必ずスロットルレバーを引いてチョークレバーを戻してください。

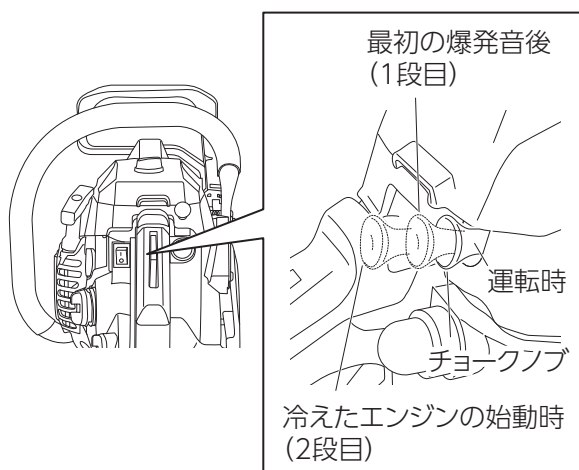
1. 混合燃料とチェーンソーオイルがそれぞれのタンクに入っていることを確認してください。

2. フロントガードを手前に引いて、チェーンブレーキを解除させてください。(P.10参照)



3. スイッチのON側(I)を押してください。

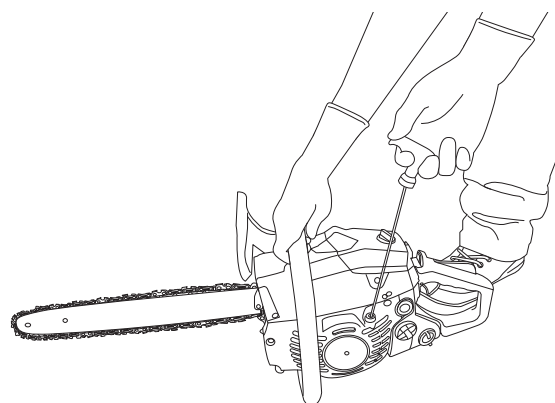
4. チョークノブを2段目まで引いてください。
※チョークノブを引くとラッチ状態(チョークが閉じた状態)になります。



5. プライマリポンプを、内部に燃料が現れるまで数回指で押して離す操作を繰り返してください。
※燃料タンク内に燃料があり、エンジン停止直後に再始動する場合はプライマリポンプの操作は必要ありません。



6. 本体を安定した地面に置き、周囲に障害物がないことを確認してから左手でフロントハンドルを握り、右足でハンドルの後側を押さえながら右手でリコイルスターターをゆっくりと引いてください。
※故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。



使い方(続き)

7. リコイルスターターに抵抗を感じたら、素早く引いてそれを最初の爆発音がするまで繰り返し行います。最初の爆発音の後にエンジンが停止した場合は8.へ、始動した場合は9.へ進んでください。

8. 安全レバーを押しながらスロットルレバーを握ってチョークノブを1度戻し、チョークノブを1段目の位置まで引き出してからリコイルスターターを引いてエンジンを始動させてください。

※チョークノブは手で押して戻さないでください。スロットルレバーを握るとチョークノブは戻ります。チョークノブを無理に押して戻すと故障の原因となります。

※チョークノブを引き上げた状態のまま、いつまでも繰り返しリコイルスターターを引き続けると、燃料を吸い込み過ぎて始動しにくくなります。燃料を吸い込み過ぎたときは、点火プラグを外し(P.32参照)ソーチェーンを上にして本体を立て、リコイルスターターをゆっくりと数回引いて余分な燃料を排出してください。

点火プラグの電極部を完全に乾かしてから元のように取り付けてください。

エンジンが停止する場合やソーチェーンが動く場合はP.25～26「エンジンの調整」を参照し、調整してください。

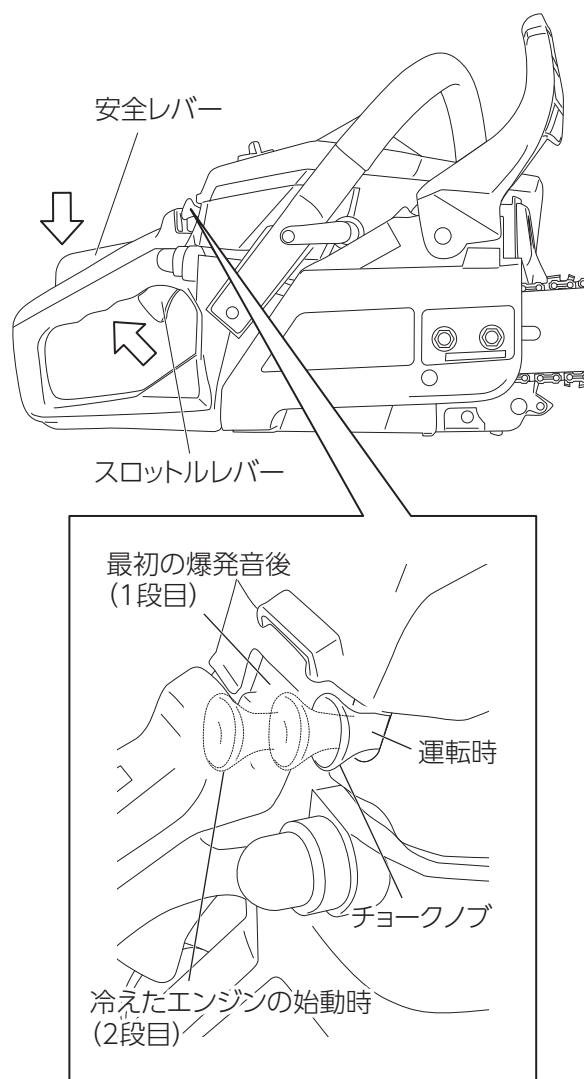
9. エンジンが始動したら、安全レバーを押しながらスロットルレバーを握ってチョークノブを戻します。その後、2～3分間スロットルレバーを握ったり戻したりを繰り返して暖機運転を行ってください。

気温が低いときは十分な暖機運転が必要です。エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

10. 暖機運転完了後、スロットルレバーを握ってチェーンソーオイルが吐出していることを確認してください。

※スロットルレバーを握って数秒間高速回転をさせ、チェーンソーオイルが飛散していれば正常です。

※チェーンソーオイルの吐出確認は汚れても良い所で行ってください。



暖まったエンジンのかけ方

1. フロントガードを手前に引いて、チェーンブレーキを解除してください。(P.10参照)
2. スイッチのON側(I)を押してください。
3. チョークノブを1段目の位置まで引き出してください。
※チョークノブを引くとラッチ状態(チョークが閉じた状態)になります。
4. 本体を安定した地面に置き、切断部の周囲に障害物がないことを確認してから左手でフロントハンドルを握り、右足でハンドルの後側を押さえながら右手でリコイルスターターを素早く引いてください。
※故障の原因になりますので、引きヒモの2/3以上は引き出さないでください。
5. エンジンが始動したら、安全レバーを押しながらスロットルレバーを握ってチョークノブを戻します。

※チョークノブを引き上げた状態のまま、いつまでも繰り返しリコイルスターターを引き続けると、燃料を吸い込み過ぎて始動しにくくなります。燃料を吸い込み過ぎたときは、点火プラグを外し(P.32参照)ソーチェーンを上にして本体を立て、リコイルスターターをゆっくりと数回引いて余分な燃料を排出してください。
点火プラグの電極部を完全に乾かしてから元のように取り付けてください。

エンジンの止め方

1. スロットルレバーを戻し、低速でしばらく運転します。
2. スイッチのOFF側(O)を押して、エンジンを止めてください。

使い方(続き)

試運転

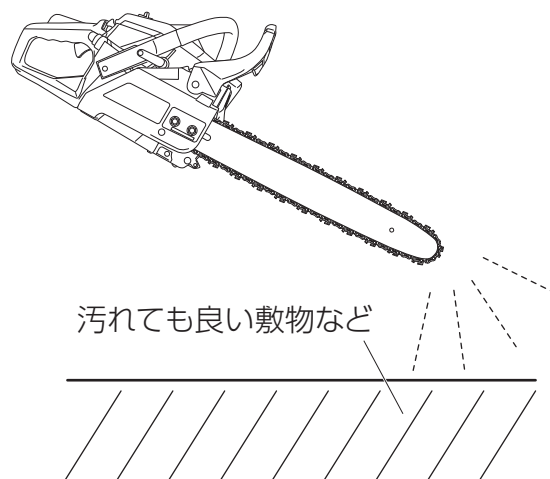
⚠ 警 告

- 試運転のときも、作業と同じ服装や装備で行ってください。
- 各パーツの取り付け・調整をしてから試運転を行ってください。
- 使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(ケガの原因)
- 調整に使用した工具は必ず全て取り外してください。

⚠ 注 意

- オイルが飛散しますので、汚れても良い場所・服装で行ってください。

1. 汚れても良い所で行うか、もしくは汚れても良い敷物を敷いてください。
2. P.15～18「エンジンのかけ方」を参照してエンジンを始動させて、スロットルレバーを引いてください。
3. ソーチェーンを敷物などに近づけて、ソーチェーンからオイルが飛散していることを確認してください。
※ 2～3分間回転させてもオイルが出ない場合は、チェーンソーオイルの吐出口に切りクズが溜まっていないか確認してください。
4. 無負荷で回転させて、異常な振動やソーチェーンのブレなどがないか確認してください。



チェーンソーオイル吐出の確認と調整

警告

- チェーンソーオイル吐出の確認と調整は、必ずガイドバー・ソーチェーンを装着した状態で行ってください。ガイドバー・ソーチェーンを取り付けないと大変危険です。

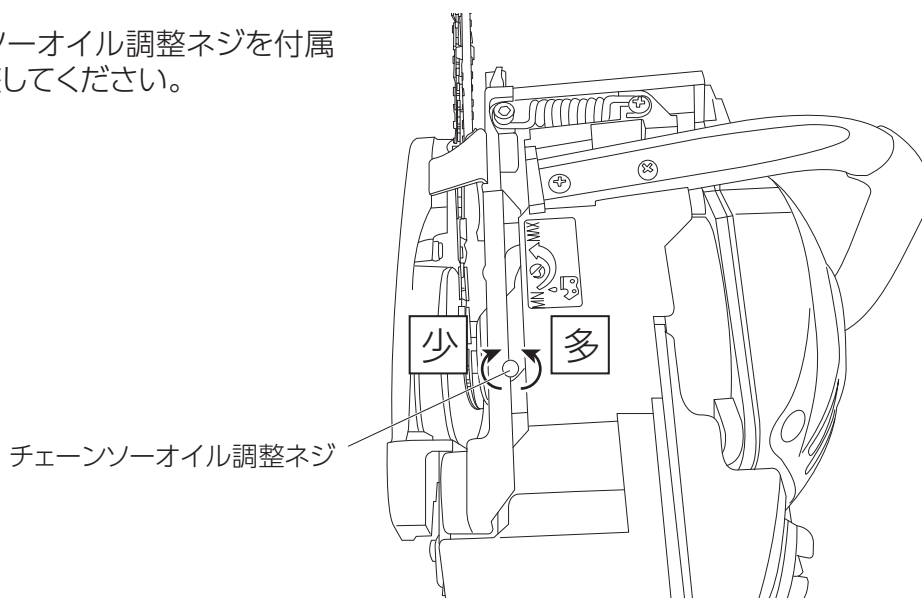
チェーンソーオイル吐出の確認

- スロットルレバーを引くとガイドバー・ソーチェーンに自動的にチェーンソーオイルが注油されます。試運転を行い、ソーチェーンを敷物などに近づけてソーチェーンからオイルが飛散していることを確認してください。
- 2～3分間回転させてもオイルが出ない場合はチェーンソーオイルの吐出口に切りクズが溜まっていないか確認してください。

チェーンソーオイル吐出量の調整

- 硬い木や樹脂(ヤニ)の多い木を切る場合は吐出量を増やしてください。
- 燃料よりも先にチェーンソーオイルがなくなる場合は、ただちにエンジンを停止してチェーンソーオイルを給油した後にチェーンソーオイルの吐出量を減らしてください。

本体の底部にあるチェーンソーオイル調整ネジを付属の⊖ドライバーで回して調整してください。



使い方(続き)

切り方の基本

本製品は家庭用です。

木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。

樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2

安全衛生特別教育規程 第10の2

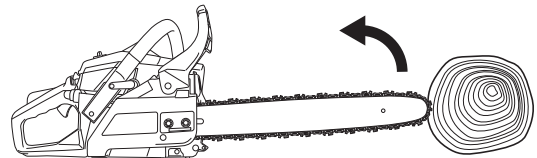
警告

- 使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(ケガの原因)
- スロットルレバーを引くときはソーチェーンに加工物などが当たっていないことを確認してください。
- あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また加工する物はしっかり固定してください。
- 加工物の中に異物(釘・ネジなど)や、加工物の下に障害物がないか確認のうえ作業してください。(強い反発力によるケガの原因)
- 切断はガイドバーの先端部分では行わないでください。また、作業中にソーチェーン先端部分などが地面や他の物に触れないように注意してください。(キックバック(はね返り)の原因)
- 加工物は可能な限り水平な場所にしっかり固定して切断してください。加工物を切断後のバランスも考慮して固定してください。
- 切り落とし寸前や切断中に、ソーチェーンやガイドバーが加工材に挟まれないように注意してください。切断する部分から近い位置に、支える台を設けてください。また、加工物切断後の切り落とし材に注意してください。

●下記項目は起きると大変危険な現象ですので、作業方法を守って正しく使用してください。

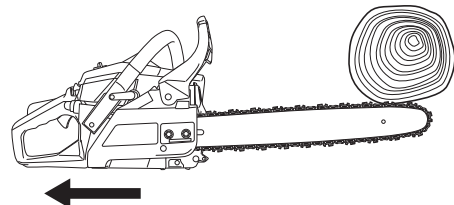
キックバック(はね返り)

ガイドバー先端に硬い物があたったり挟まったりしたときに、チェーンの回転方向とは逆の手前方向に突発的な力が働くこと。



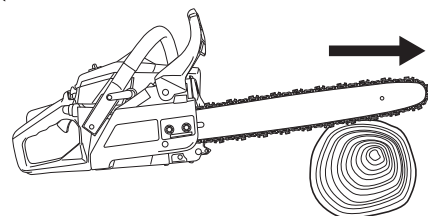
プッシュバック

刃の上部に硬い物があたったり挟まったりすると、本体が作業者の方向に強く押し付けるように動くこと。



プルイン

刃の下部に硬い物があたったり挟まったりすると、機械が前方に飛び出すように動くこと。



【キックバック・プッシュバック・プルインを避けるには】

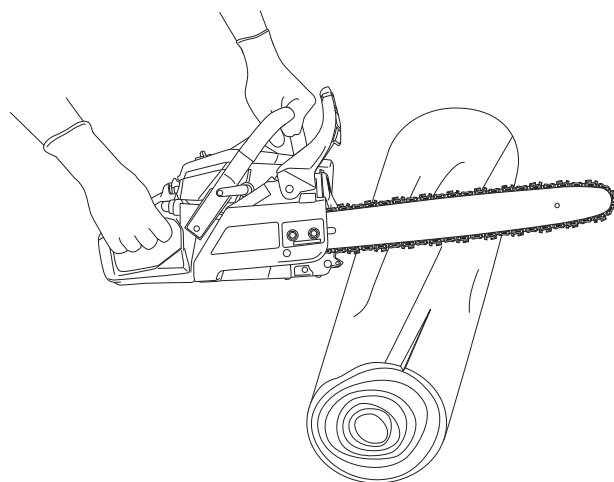
- ソーチェーンの先端で切ろうとしたり、物を接触させたりしない。
- 必ず回転が安定してから切り始め、スロットルレバーを戻さずに最後まで切る。
- ソーチェーンが摩耗したり、ゆるんだ状態で使用しない。

⚠ 注 意

- 行政機関では、チェーンソーの1日の使用時間は2時間以内、連続操作時間は10分以内にするように指導しています。作業時間の組み合わせを上手に計画して使用してください。
- 長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ症の原因になります。
- 傾斜のない平坦な場所で作業してください。不安定な場所で作業するとケガ・事故の原因になります。

正しい切り方ができるように練習してください。数本切るとうまくできます。

- 1.加工物をしっかりと固定してください。
※地面からできるだけ離して固定してください。地面に近すぎると、切断後地面にソーチェーンがあたり、ソーチェーンの損傷やチェーンソー本体がはね返る場合があります危険です。
- 2.本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してソーチェーンが加工物などに触れていないことを確認してスロットルレバーを引いてください。
- 3.ソーチェーンを加工物に軽くあて、エンジンの回転速度を一定に保ち、押し付ける力を加減しながら切断してください。
※先端切りは、本体がはね上がり危険です。
- 4.能力以上の力で押し付けるとクラッチが動きます。
(エンジンは回転しますが、ソーチェーンは回転しません)
ソーチェーンが回転する力で切り込んでください。
- 5.完全に切断した後に、スロットルレバーを戻してください。

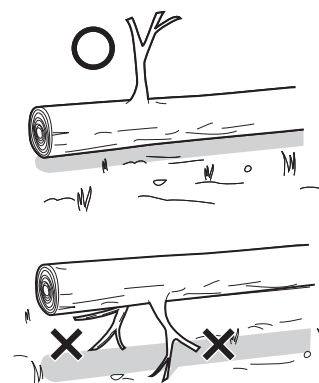


枝払い作業

⚠ 警 告

- 枝払い作業は木が倒れている状態で行ってください。
- 足場の悪い所での作業はしないでください。
- 切り落とす枝などの動きに十分注意してください。

枝払いは、幹の重みが掛かっていない状態の枝を切り落としてください。



使い方(続き)

造材作業

警告

- ガイドバーやソーチェーンが加工物に挟まれると、プルインやプルバックが起こり非常に危険です。挟まれないよう十分に注意してください。
- 切り落とした加工物に注意ください。

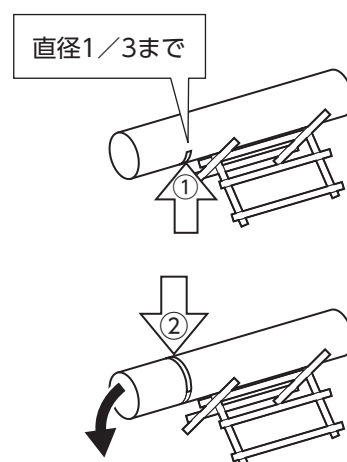
地面からできるだけ離して固定してください。地面に近すぎると、切断後地面にソーチェーンがあたり、ソーチェーンの損傷やチェーンソー本体がはね返る場合があります危険です。

●片方のみを支持した加工物の切断

ガイドバー・ソーチェーンが挟まれることを防ぐために2回に分けて切断してください。

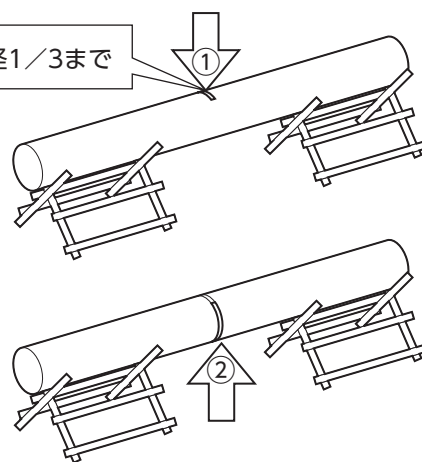
1.第1カット

加工物の下から、ガイドバー上側の根元からあてて加工物の直径1/3まで切断します。



2.第2カット

第1カットの真上から、第1カットに達するまで切り込んで切断してください。



●両方を支持した加工物を切断

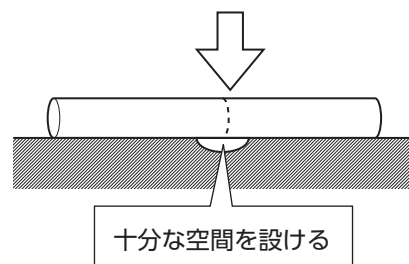
ガイドバー・ソーチェーンが挟まれることを防ぐために2回に分けて切断してください。

1.第1カット

加工物の上から、加工物の直径1/3まで切断します。

2.第2カット

第1カットの真下から、ガイドバー上側の根元からあてて第一カットに達するまで切り込んで切断してください。

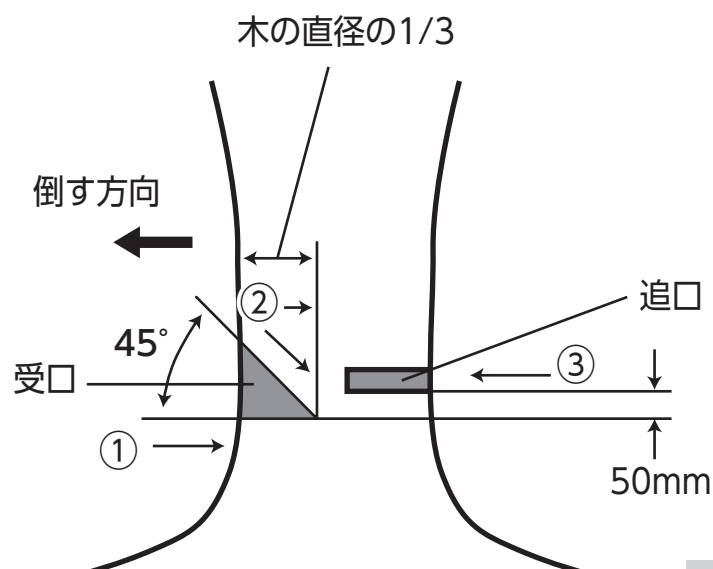
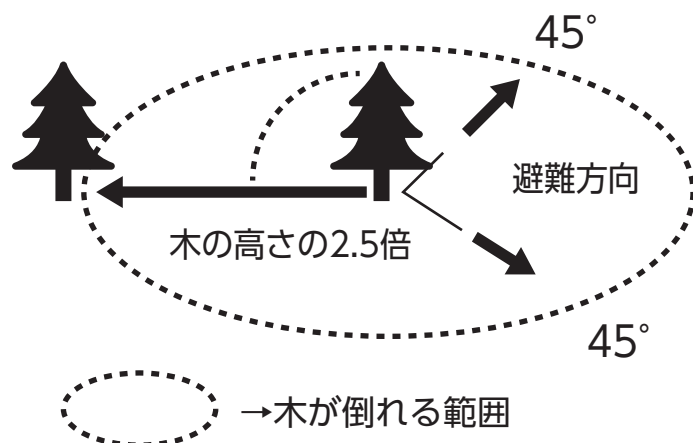


●加工物が地面に横たわっている場合

地面の一部を掘ったり、枕木を下に敷いたりしてソーチェーンやガイドバーが加工物以外の物に接触しないように十分な空間を設けて、上から下に切断してください。

樹木を切り倒す場合

1. 切断する木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し倒す方向、避難する方向を決めてください。
 ※倒す方向の「木の高さ×2.5倍」の間に障害物が無いことを確認してください。
 ※避難方向は倒す向きの反対側、斜め45°を目安としてください。
2. 足場の安全を確保します。切断する木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
3. 右図のように伐り倒す方向に直径の1/3程度の切れ込みを①、②の順に入れて受口を作ってください。
4. 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口③を切込んでください。
5. 追口の切込みが樹心を越えると木が倒れ始めます。木が倒れ始めたら、切口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合や、ソーチェーン・ガイドバーが挟まれたときは、作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正し、挟まれたソーチェーン・ガイドバーを取り除いてください。



使い方(続き)

エンジンの調整(キャブレターの調整)

⚠ 警 告

- エンジンの調整を誤ると、エンジンの最高回転速度が許容値を超えてエンジンが破損する恐れがあります。高速回転中のエンジン破損は、破片によって重大事故を招く危険があります。エンジン調整時は、下記の要領を必ず守ってください。

⚠ 注 意

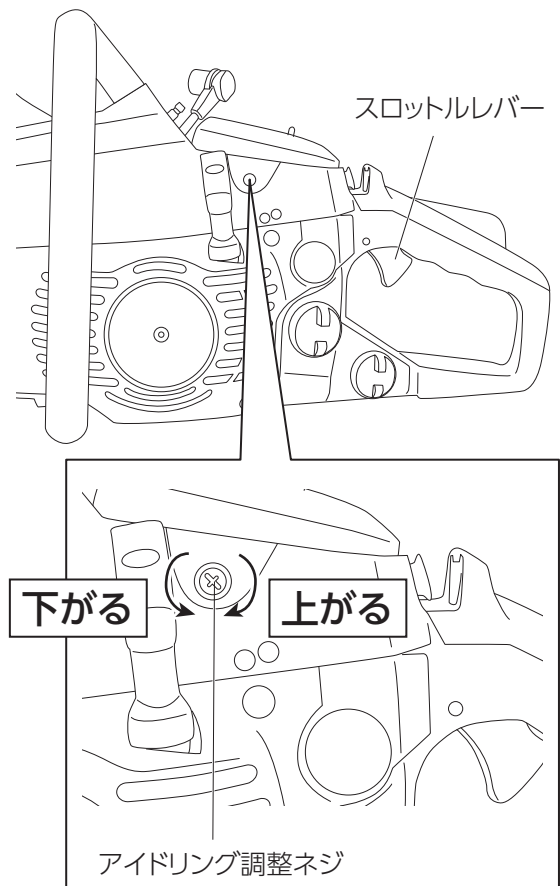
- スロットルレバーから指を離した後もソーチェーンが回り続ける場合は危険です。下記の要領で再調整しても直らない場合は、スロットルレバーの作動不良やクラッチの故障の可能性がありますのでお買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

エンジンは工場出荷時に調整されていますが、運転条件(エンジンのなじみ具合、空気密度の変化など)により再調整が必要になる場合があります。

エンジンの調子が良くない場合は下記の手順に従って調整してください。下記の手順で調整しても改善しない場合はお買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」にご相談ください。

アイドリング回転数の調整

1. 右図の位置にあるアイドリング調整ネジを付属の⊖ドライバーで回してください。右に回すと回転が上がり、左に回すと回転が下がります。
2. エンジンをかけ、2～3分中速で暖機運転した後、スロットルレバーを戻して様子を見てください。
3. このとき、ソーチェーンが回り続ける場合はアイドリング調整ネジを左に回してエンジン回転速度を下げてください。
チェーンソーを傾けるとエンジンが止まってしまう場合は回転速度を上げてください。



燃料ニードルの調整

⚠ 注 意

- 燃料ニードルの調整を誤るとエンジンの不調や故障(回転の不安定、燃費の悪化、過熱による焼き付きなど)原因となります。

注

- ニードルの調整は使用環境・気候(温度・湿度)などによって変化します。
- 低速ニードルは調整が難しいので、不慣れな方はできるだけお買い上げの販売店にお申し付けください。

各ニードルは右回しで燃料が薄くなり、左回しで濃くなります。

燃料が薄くなると気化しやすく、回転数が上がります。ただし薄すぎると燃料が希薄になり爆発しません。燃料が濃くなると、反対に回転数が下がります。濃すぎると気化せず、またプラグがかぶりやすくなります。

- ①低速ニードル(L)と高速ニードル(H)を付属の
⊖ドライバーで右に回して、止まった位置から
右図の分だけ左に戻してください。

※このときフィルターカバーを外すと調整しやすくなります。

※基準開度の状態でエンジンが始動しない場合はその他の原因が考えられます。

お買い上げの販売店または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

②「低速ニードル(L)」

アイドリング調整ネジでアイドリング回転速度を調整後、低速運転時の回転安定性と加速性を確認してください。低速ニードルは、右に回すと混合気が薄くなり、左に回すと濃くなります。基準開度から左右にニードルを回して、スロットルを握ったときにスムーズに回転が上がるようセットしてください。

※低速ニードルは右に回すと回転速度が上がり、左に回すと回転速度が下がります。低速ニードルが適正でない場合、エンジンが停止しやすくなります。

③「高速ニードル(H)」

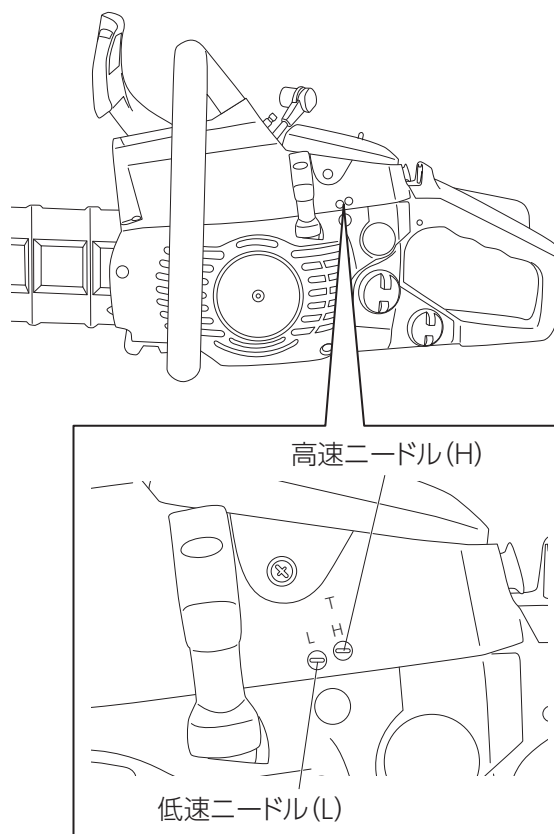
エンジンをかけ、暖機運転後スロットル全開で調子をみてください。高速ニードル(H)は、右に回すと混合気が薄くなり、左に回すと濃くなります。

基準開度から左右にニードルを回して、最適な位置にセットしてください。

※高速ニードルは右に回すと回転速度が上がり、左に回すと回転速度が下がります。回転速度を上げすぎるとエンジンが焼きつく原因となりますので注意してください。

燃料ニードル基準開度とエンジン回転速度	
高速ニードル(H)	約1回と1/4
低速ニードル(L)	約1回と1/4

※上記はあくまで目安であり個体差が生じます。



お手入れ

警告

- お手入れのときは必ずスイッチを切り、エンジンを停止させてください。
- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、エンジンを停止させて使用を中止し、お買い上げの販売店にお申し付けください。または(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

ソーチェーンの目立てについて

警告

- ソーチェーンの目立ては正しく行ってください。
- 目立てはバランスよく行ってください。不均一な場合、ソーチェーンの破断や能力低下の原因になり、重大な事故につながります。



- チェーンソーの目立てに必要な道具はセット内容に含まれておりません。市販の物をお買い求めください。

目立てに必要な道具	あると便利な道具
 チェーンソーヤスリ4.0mm	 ヤスリホルダー4.0mm 5/32in用
 平ヤスリ	 デプスゲージジョインター 0.025in用

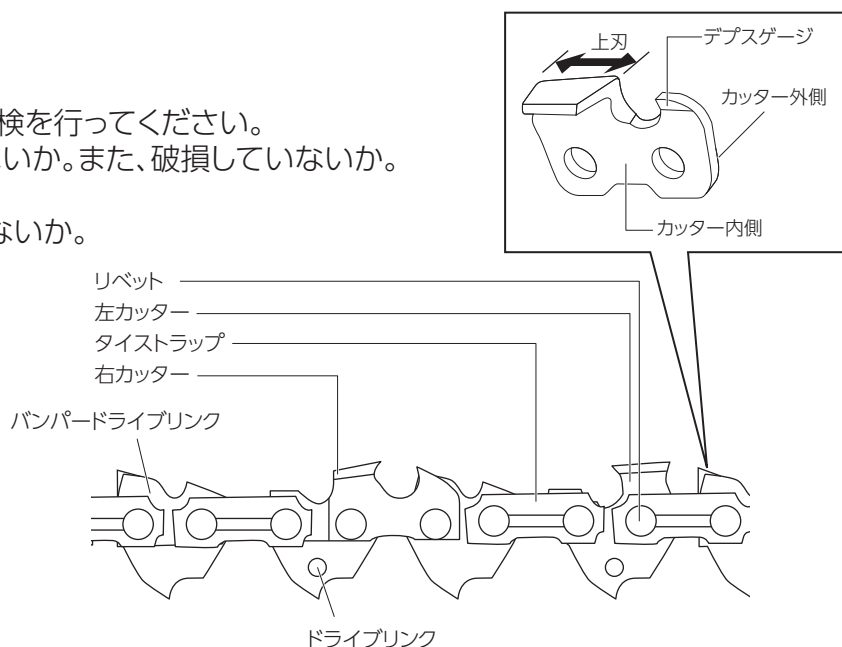
ソーチェーンは常に切れ味の良い状態を保ってください。切れ味が悪くなってくると大きい木片がほとんど出ずに細かい切りクズだけが出るようになります。切れ味がよくない状態で使用した場合、本体の寿命低下の原因になります。切りクズの細かさや食い込みの悪さを感じたら目立てを行ってください。

目立てをする前の確認

目立てをする前にソーチェーンの点検を行ってください。

- ドライブリンクなどが曲がっていないか。また、破損していないか。
- カッターなどが破損していないか。
- リベットがゆるんだり、破損していないか。

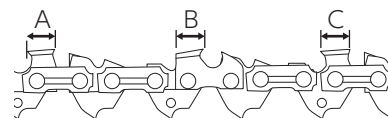
上記項目にあてはまる場合は、
すぐに新しいソーチェーンに
交換してください。



カッターの目立て方法

⚠ 注 意

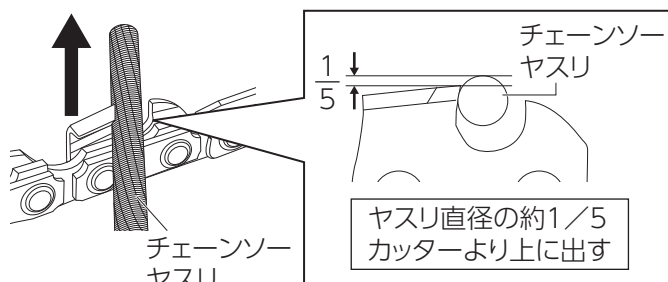
- それぞれのカッターは刃長を同じにしてください。
($A=B=C$)
- カッター刃長が新品の半分かになったらソーチェーンの交換時期です。



1. ソーチェーンの張りを適正に調整してください。

2. チェーンソー本体をしっかりと固定してください。

3. 刃の角度をそろえて目立てをしてください。

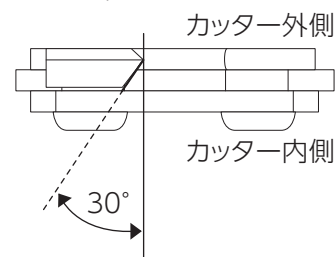


- 市販のチェーンソーヤスリ(丸)をカッターの内側から外側へ向けて使用してください。
2～3回前方に押し研いでください。

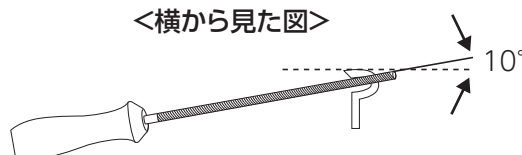
※ソーチェーンを手で送るときは、手袋をして十分注意してください。

- まず、左右のカッターの片方のみを目立てをしてから、残りのもう一方の目立てをしてください。

<上から見た図>



<横から見た図>



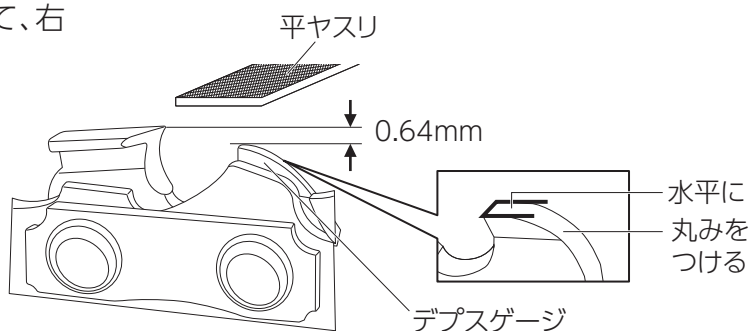
カッターのデプスゲージ調整方法

⚠ 警 告

- デプスゲージの寸法が長くなりすぎるとソーチェーンが破断し、重大事故の原因になります。

デプスゲージの調整はカッターの目立て3回につき1回程度の割合で調整してください。

- 市販の平ヤスリをデプスゲージに水平にあてて、右図のように調整してください。



お手入れ(続き)

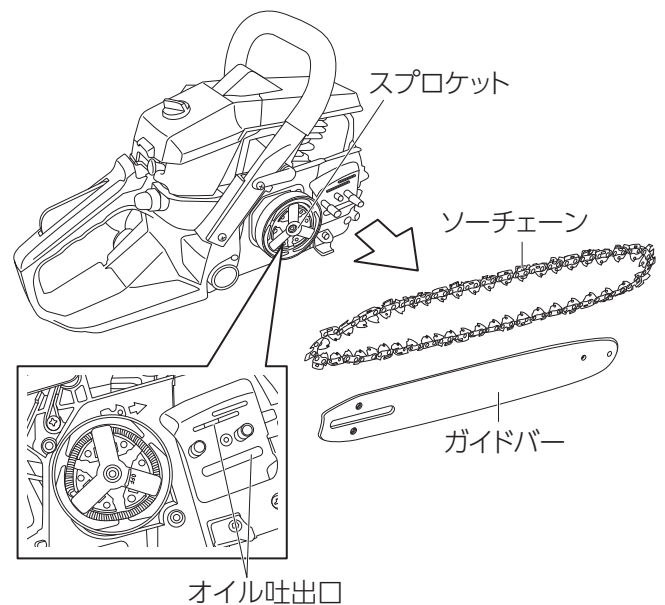
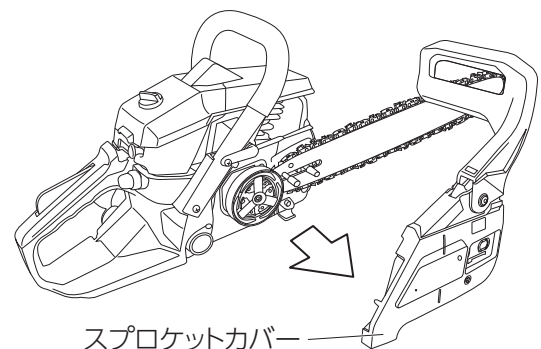
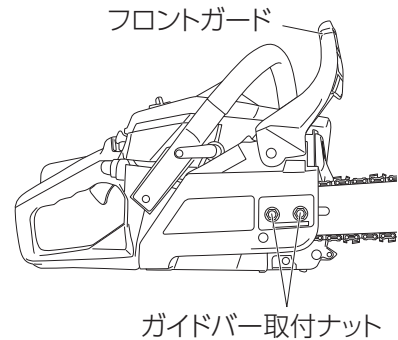
ソーチェーンの取り外し・取り付け

警告

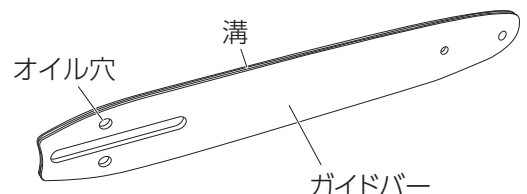
- ソーチェーン取り外し・取り付けのときは、必ず切創防止手袋を着用してください。(ケガの原因)

取り外し

1. フロントガードを手前に引いて、チェーンブレーキを解除させてください。(P.10参照)
2. 付属のコンビボックススパナでガイドバー取付ナットを回してスプロケットカバーを外してください。
3. ガイドバーとソーチェーンを本体から取り外してください。ガイドバーを先に外してからソーチェーンを外してください。ソーチェーンを斜めにすると外しやすくなります。



ソーチェーンを取り外したときは、オイル吐出口・ガイドバーの溝やオイル穴およびその周辺の切りクズを取り除いてください。切りクズなどが溜まっていますと故障の原因になります。

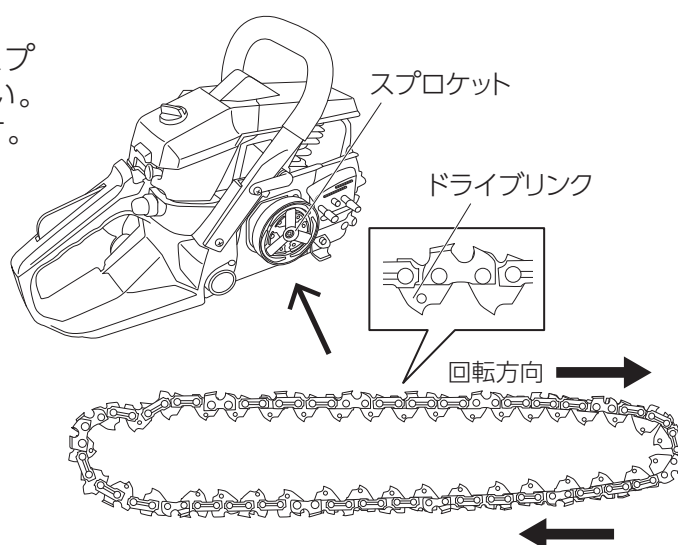


取り付け

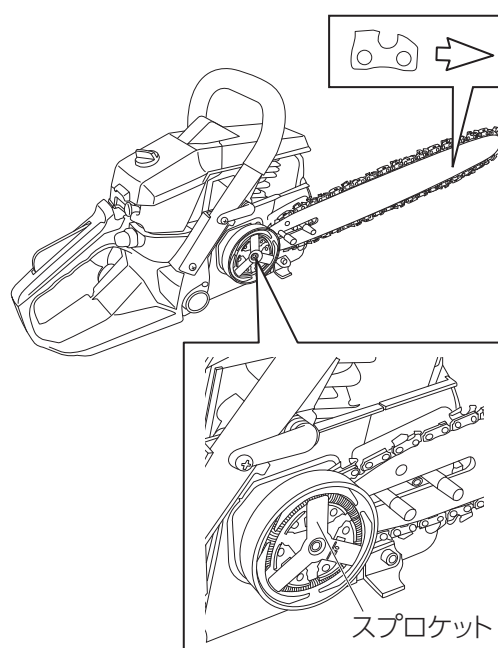
警告

- ソーチェーンの回転方向を必ず確認し、取り付け方向を十分に確認して正しく取り付けてください。
- ソーチェーンは指定の物を使用してください。
新しいソーチェーンは市販の下記規格を使用してください。
91PX-57E※
※は包装形態により変わります。

1. ソーチェーンが右図の方向になるようにしてスプロケットの内側にソーチェーンを通してください。
ソーチェーンを斜めに通すと通しやすくなります。



2. ガイドバーの矢印が右図のようになるようにしてソーチェーンの間に入れ、ガイドバーの溝にソーチェーンのドライ布林クをはめ込んで本体に取り付けてください。



3. スプロケットカバーを2つのガイドバー取付ナットでしっかりと取り付けてください。
※必ず使用する前に、ソーチェーンの調整を行ってください。(P.11参照)

お手入れ(続き)

エアフィルターのお手入れ

⚠ 警 告

- エアフィルターの清掃は換気の良い場所で行ってください。

⚠ 注 意

- エアフィルターが目詰まりしますと、エンジンの始動不良や出力不足、燃料消費量の増加などの原因となりますので、定期的に清掃をしてください。

その日の作業を始める前に、1日1回を目安にエアフィルターのゴミやホコリを取り除いてください。

- ①本体後部の固定ノブを回してゆるめてフィルターカバーを外してください。

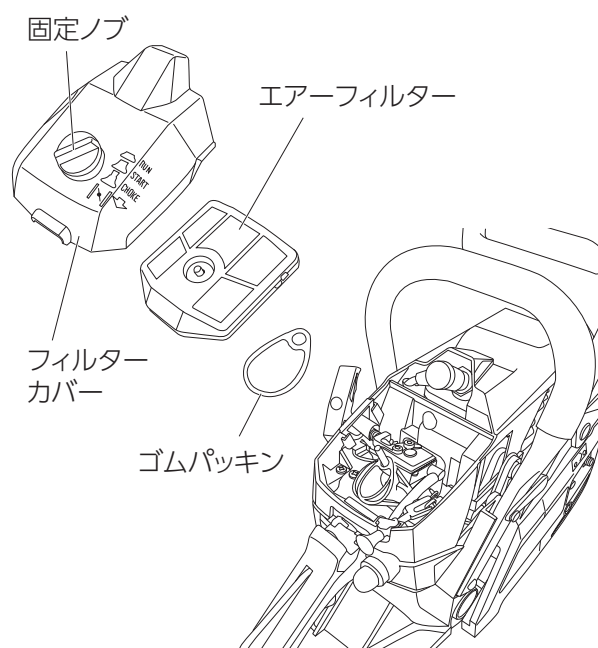
※固定ノブはフィルターカバーから取り外しできません。

- ②エアフィルターを取り外し、付着しているゴミやホコリを取り除いてください。

※洗浄してもフィルターの汚れがひどい場合や弾力がなくなったり傷みのある場合は、新しい物と交換してください。

交換用のフィルターについてはお買い上げの販売店にお申しつけください。

※エアフィルターを取り外すときは、ゴムパッキンを紛失しないよう注意してください。



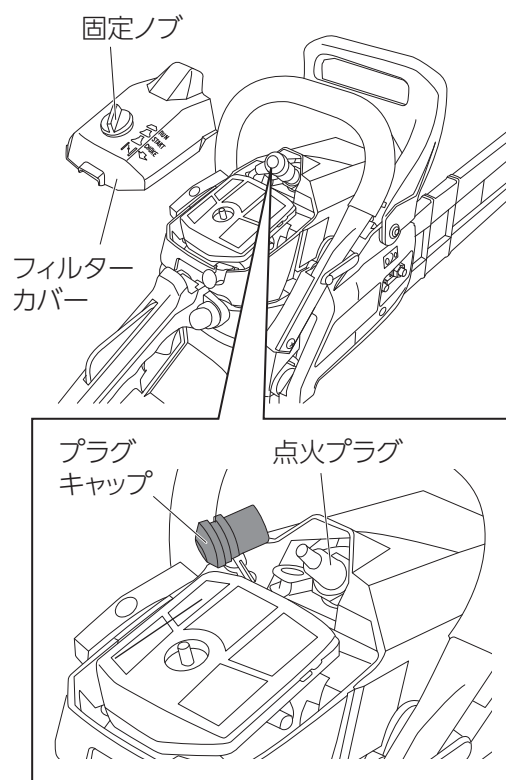
点火プラグのお手入れ

警告

- 電極が汚れていたり、電極のすき間が不適切だと正常な火花が飛ばなくなりエンジンの回転数が不均一になるなど、エンジン不調の原因となります。
- 点火プラグの点検・清掃・交換・調整は完全にエンジンが冷えてから行ってください。

点火プラグの点検は25時間毎に行ってください。

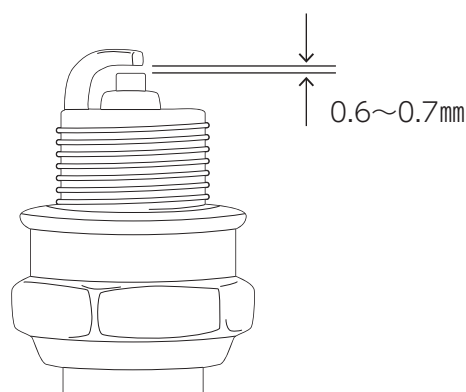
- ① 本体後部の固定ノブを回してゆるめて、フィルターカバーを外してください。
- ② プラグキャップを外して、点火プラグを付属のコンビボックススパナで外して点検してください。カーボンで汚れている場合は、プラグ用クリーナー・ワイヤーブラシなどでカーボンを落としてください。



- ③ 点火プラグの電極すき間は0.6～0.7mmが正常です。
※電極のすき間が適正でない場合は、側方電極を曲げてすき間の調整を行うか、新しい物に交換してください。

点火プラグ指定品
NGK BPMR7A
CHAMPION RCJ7Y

- ④ 点火プラグの取り付けは最初指でねじ込んでから付属のコンビボックススパナで締め付けてください。はじめからスパナで締め付けるとネジ山が破損する可能性があります。



お手入れ(続き)

お手入れと保管

清 掃

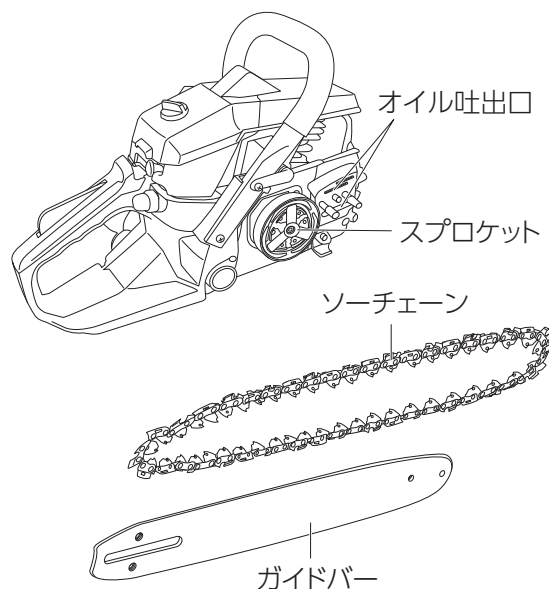
⚠ 注 意

- 絶対に本製品を水洗いしないでください。
- 本体のお手入れに、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
(破損・故障の原因)
- 油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 作動部周辺の各部に付着した切りクズなどはきれいに取り除いてください。(故障・作動不良の原因)

●スプロケットカバー内の清掃

チェーンソーオイルの供給不足を防ぐため、1日の作業が終わった後はスプロケットカバーを外し、スプロケットやオイル吐出口の周辺を清掃してください。

また、ソーチェーン・ガイドバーに付着した切りクズも清掃してください。



定期点検

- 使用する前にひび・割れ・変形などの異常がないか点検してください。
- ソーチェーンの張り・刃先の状態が適正か確認してください。ソーチェーンは消耗品です。破損や摩耗により交換時期になった物は新しい物に交換してください。
- 各部取付ネジにゆるみがないか定期的に点検してください。もしゆるんでいるネジがあれば、しっかりと締め直してください。

保管について

警 告

- 保管するときは、ガイドバーにチェーンカバーをしてソーチェーンがむき出しにならないようにしてください。
- 燃料がこぼれないように注意してください。こぼれた燃料は完全に拭き取ってください。
- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で・お子様の手の届かない安全な場所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

注 意

- 混合燃料がタンク内やキャブレター内に残ったまま長期保管すると、混合燃料が変質してしまうため、エンジンがかからなくなったり、燃料チューブなどの各種部品が劣化してしまいます。1週間以上使用しない場合は、必ず混合燃料を抜き取ってください。
- 保管時は、燃料タンクキャップをゆるめに締めてください。強く締め付け過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

注

- 使用しない場合や、保管のときは、本体の下に汚れてもよい物を敷いてください。

お手入れ(続き)

●長期保管方法

長期間(30日以上)使用しない場合は、下記の作業を行ってください。

①本体・ガイドバー・ソーチェーンなどに付着しているゴミや汚れを取り除いてください。

②燃料タンク内の燃料を抜いてください。

③燃料を抜いたら、抜いた場所から3m以上離れた場所に移動し、エンジンを始動させて自然停止するまで運転させてください。

※燃料を残したまま保管した場合、キャブレターの詰まり・作動不良の原因となります。

※燃料を抜くときは、トレーなどを置いて周囲に燃料がこぼれないようにしてください。

④オイルタンク内のチェーンソーオイルを抜きます。

※チェーンソーオイルを抜くときは、トレーなどを置いて周囲にオイルがこぼれないようにしてください。

※廃油は法令に基づいて処理してください。

⑤点火プラグを取り外し、2サイクルエンジン専用オイルを1～2mlエンジン内に注油してリコイルスターターをゆっくり2～3回引いてください。

⑥点火プラグを取り付け、リコイルスターターを引いて抵抗を感じた位置で止めてください。作業時はオイルなどが飛散する恐れがありますので、保護メガネなどを着用してください。

⑦安全のため、チェーンブレーキをロックさせてください。(P.10参照)

⑧火気が近くになく、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、カギのかかる場所にきちんと保管してください。

故障かな?と思ったら

⚠ 警 告

- 故障・異常時はただちにスイッチを切りエンジンを停止させて使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因となります。
- 給油は、火気のないところで行ってください。爆発や火災の原因となり大変危険です。
- 機体各部の締結部品(ボルト、ナット、ネジ類)は必ず純正品または指定品を使用してください。規定外品を使用すると、使用中に本体の破損や部品の脱落により不測の事故を招く恐れがあります。

■ 状態	■ 原因	■ 対処法
エンジンが始動しない	P.37参照	
エンジンの出力不足や回転が不安定	エアフィルターが詰まっている	フィルター類を清掃か交換する(P.31参照)
	点火プラグが汚れている	点火プラグの清掃・調整または交換をする(P.32参照)
エンジンが止まらない	スイッチの故障(接触不良)	お買い上げの販売店に相談する
チェーンソーオイルが出ない・出が悪い	チェーンソーオイルが不足している	チェーンソーオイルを補給する(P.13参照)
ソーチェーンが回転しない	チェーンブレイキが作動している	チェーンブレイキを解除する(P.10参照)
	ソーチェーンが外れている	ソーチェーンを確実に取り付ける(P.29・30参照)
	ソーチェーンが切れている	新しいソーチェーンに交換する(P.29・30参照)
スロットルレバーを戻すとエンジンが停止する	アイドリング回転数が低過ぎる	キャブレターの再調整(P.25・26参照)
スロットルレバーを戻してもソーチェーンが回り続ける	アイドリング回転数が高過ぎる	
強く押しつけないと切れない	ソーチェーンの切れ味低下	ソーチェーンの目立てまたは交換をする(P.27～30参照)
まっすぐに切れない	ソーチェーンの左右のカッターの切れ味が不均等	
燃費が悪化	ソーチェーンの切れ味低下	
	エアフィルターの目詰まり	フィルター類を清掃か交換する(P.31参照)
	キャブレターの燃料調整が濃すぎる	再調整(P.25・26参照)

お手入れ(続き)

■ 状態	■ 原因	■ 対処法
エンジンが始動しない	スイッチがOFFになっている	スイッチをONにする
	燃料がない	正しい燃料を補給(P.12～14参照)
	燃料が古い・燃料不良・水などが混入	正しい燃料に交換(P.12～14参照)
	エアークリッターが詰まっている	フィルター類を清掃か交換する(P.31参照)
	燃料を吸い過ぎている	点火プラグを外してよく拭き取って乾燥させる(P.32参照)
	点火プラグ電極汚損、短絡、断線	点火プラグの清掃・調整または交換をする(P.32参照)
	スイッチ故障(短絡)	お買い上げの販売店に相談する
	燃料が回っていない	プライマリポンプを押す(P.16参照)

※上記項目をお試しいただいてもエンジンが始動しない場合

- ①低速ニードル(L)と高速ニードル(H)を付属の
⊖ドライバーで右に回して、止まった位置から
右図の分だけ左に戻してください。

※このときフィルターカバーを外すと調整しやすくなります。

※基準開度の状態でエンジンが始動しない場合はその他の原因が考えられます。

お買い上げの販売店または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。

②「低速ニードル(L)」

アイドリング調整ネジでアイドリング回転速度を調整後、低速運転時の回転安定性と加速性を確認してください。低速ニードルは、右に回すと混合気が薄くなり、左に回すと濃くなります。基準開度から左右にニードルを回して、スロットルを握ったときにスムーズに回転が上がるようセットしてください。

※低速ニードルは右に回すと回転速度が上がり、左に回すと回転速度が下がります。低速ニードルが適正でない場合、エンジンが停止しやすくなります。

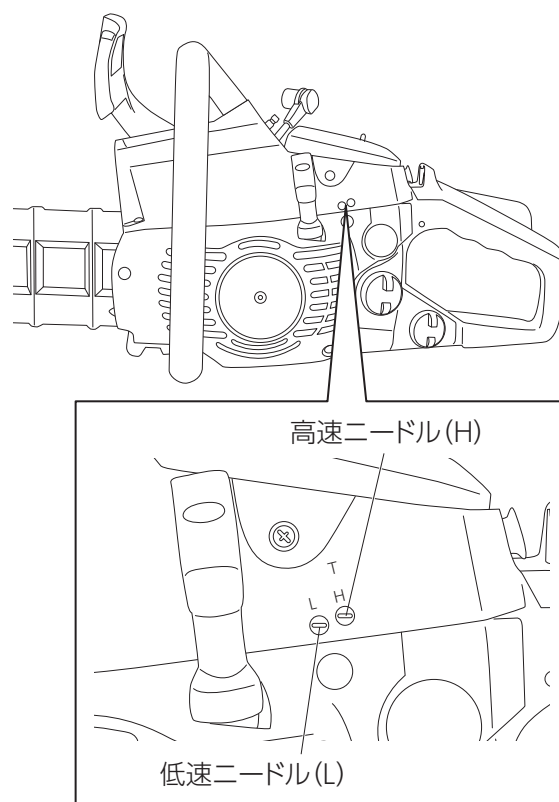
③「高速ニードル(H)」

エンジンをかけ、暖機運転後スロットル全開で調子をみてください。高速ニードル(H)は、右に回すと混合気が薄くなり、左に回すと濃くなります。基準開度から左右にニードルを回して、最適な位置にセットしてください。

※高速ニードルは右に回すと回転速度が上がり、左に回すと回転速度が下がります。回転速度を上げすぎるとエンジンが焼きつく原因となりますので注意してください。

燃料ニードル基準開度とエンジン回転速度	
高速ニードル(H)	約1回と1/4
低速ニードル(L)	約1回と1/4

※上記はあくまで目安であり個体差が生じます。



いずれの場合にもあてはまらないときはご自分で修理せず、お買い上げの販売店にお申しつけください。
または(株)高儀ホームページ(本書最終ページ参照)内の「お問合せ」より修理受付をしてください。

お手入れチェック表

警告

- お手入れを行うときは、必ずスイッチを切りエンジンを停止させてください。
- ソーチェーンを取り扱うときは必ず切創防止手袋を着用してください。

下記表を目安にお手入れを行ってください。

部位	お手入れ頻度	お手入れ方法
1.本体各部	毎 回	特にスプロケットカバー内(オイル吐出口など)・フィルターカバー周辺のオイル、切りクズ汚れの除去(P.33参照)
2.エアーフィルター		ホコリ・汚れの除去(P.31参照)
3.ガイドバー		内部の清掃、必要な場合交換(P.29・30参照)
4.ソーチェーン		点検清掃、必要な場合研磨または交換(P.27～30参照)
5.点火プラグ	25時間毎 ※時間は目安です。	カーボンの除去、電極すき間の調整、必要な場合交換(P.32参照)

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、製品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品 名	EM エンジンチェーンソー400mm			お 買 上 げ 日	年 月 日
型 式	CSE-370EA	J A N コード	4907052 376816	保 証 期 間	お 買 上 げ 日 より 6 か 月
販 売 店	販売証明書や レシート等を 添付してください。				

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載等)に使用された場合の故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き換えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店又はホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店又はホームページから
お問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00(土日祝日及び弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。